



国立高等専門学校設立は昭和37年にはじまりました。同時にこの頃から、工学部の学科増設などによる技術者養成の推進策が講じられ、これによって我が国の工業が生産技術を中心に発展する、いわゆる高度経済成長がもたらされました。それから40数年を経た今、世界の国々は科学技術創造立国と人材立国を標榜しています。科学技術の発展が新産業を生みだし、グローバル経済が市場を席卷する今日、科学技術振興が国力増強の施策となっていますが、それには科学技術に対する責任と自覚が伴わねばなりません。これが「科学技術創造立国」の意味することです。すなわち、科学技術に基づく社会のイノベーションの推進は、エネルギーや地球環境などの持続可能性、コミュニティの形成や安全安心な知識基盤社会の構築、グローバル化が進むなかで国や地方のアイデンティティに責任を持ったうえで図らねばなりません。21世紀はまさに、「現実を直視した挑戦」の時代と言えます。

経済界の強い